

2024 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | | |
|--|-------------|-------------|--|-------------------------|------------------------|---------------|
| 学 科 | 言語聴覚士学科昼間部 | | 科 目 区 分 | 基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
| 科 目 名 | リハビリテーション医学 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 15 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年生 | | 学期及び曜時限 | 後期 月曜4限 | 教室名 | 4校舎401教室 |
| 担 当 教 員 | 前中尾絵梨香 | 実務経験とその関連資格 | 理学療法士として、病院・介護施設・訪問看護ステーションなどで15年以上 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> リハビリテーションとは何か。病期による関わり方の違いを考える リハビリテーションの対象となる障害の基礎知識について知る リハビリテーションの対象となる疾患の概要について理解する | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 学期末試験(筆記)において60%以上の得点をもって合格とする。 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| リハビリテーションビジュアルブック | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 配付資料の空欄部分を中心に復習すること | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 第5回、第6回の講義までに疾患についての該当ページについて読み、課題を完成させること | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | リハビリテーションの急性期～維持期までの流れや違いを理解する | PC | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | リハビリテーションの様々な側面を知り、病期による関わり方やチームでのアプローチについて学習する。 | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 機能障害とその検査方法について理解する | PC ゴニオメーター 打腱器 など | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 各種障害の特徴やその検査方法について学習する。 | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 機能障害とその検査方法について理解する | PC | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 各種障害の特徴やその検査方法について学習する。 | | | |
| 第4回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | リハビリテーション対象疾患の概要について理解する | PC | グループ学習で課題とした疾患についてまとめる | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 事前に課題として各疾患の発表グループを決定。学生の課題発表の場とする | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 各種疾患のリハビリの現状について理解する | PC | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 動画なども見ながら疾患ごとの動作の違い、リハビリの内容などについて学習する | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|--------|-------------|---|--------------------------|-------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 合併疾患の概要について理解する | PC | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 内科的疾患・整形疾患などSTとしての対象とはなりにくい疾患の概要について学ぶ。また、学ぶ意味を考える。 | | |
| 第7回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 基本の介助・福祉用具について理解する | PC 車椅子 杖 歩行器 など | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 基本動作の介助方法について、また、杖や車椅子などの種類や使用方法について学習する。 | | |
| 第8回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 基本の介助・福祉用具について理解する | PC 車椅子 杖 歩行器 など | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 基本動作の介助方法について、また、杖や車椅子などの種類や使用方法について学習する。 | | |
| 第9回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第10回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第11回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第12回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第13回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第14回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第15回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |